

2020年度 第3回長崎県がん診療連携拠点病院研修会

アンケート調査結果

【開催日】 2021年3月5日（金）

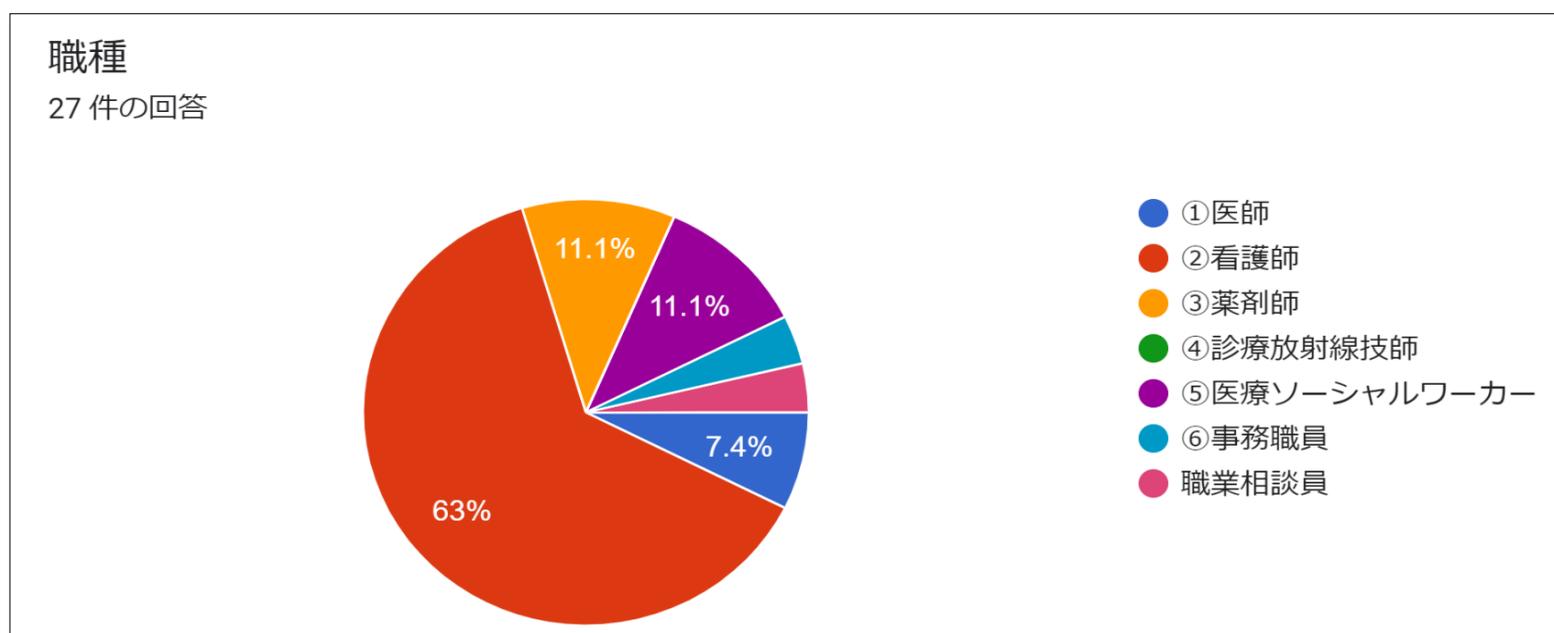
【時間】 18:30～19:45

【形式】 Web講演

【出席者】 90名

【回答者】 27名

※回答者割合は下記グラフのとおり



【出席者 内訳】

施設名 職種	大学	みなと	佐世保市 総合	諫早 総合	原爆	佐世保 中央	島原	長崎 医療	他施設	合計
医師・歯科医師	6	0	0	0	2	0	0	0	2	10
薬剤師	0	0	0	0	1	0	0	0	5	6
看護師	33	0	3	1	0	0	0	1	5	43
放射線技師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MSW	3	2	1	2	5	0	0	2	5	20
事務職員	2	0	0	0	1	0	0	0	1	4
その他・不明	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
合計	44	2	4	3	9	0	0	3	25	90

【今回の講演について】

①よかったところ

- ・AYA世代特有の問題を楽しく、でも患者さん目線で聞いたこと（医師）
- ・経験者からの生の意見がきけたこと、大変勉強になりました（医療ソーシャルワーカー）
- ・体験が聞いたこと（看護師）
- ・体験や実際の事例をきけたので、より具体的に理解できた。（薬剤師）
- ・患者の立場から必要な支援のあり方を学ぶことができた。就労支援の先進的な取り組みを知ることができた（医療ソーシャルワーカー）
- ・岸田さんの体験を通しての講演は理解しやすく、楽しかったです（看護師）
- ・AYA世代のがん経験者の生の声が聞いたこと、AYA世代のピアサポートや、就労支援が聞いたこと（看護師）
- ・患者さんご本人の話が盛り込まれていたところです。まわりの方のサポートは、実際に大きい役割があることを再確認しました（職業相談員）
- ・患者さんの気持ちを知ることができたこと（看護師）
- ・AYA世代のがん患者自身の将来に対する思いが伝わりました。我々も普段から相談に乗ることができるよう知識を持っておかななくてはいけないこと、その知識を収集するツールを知ることができました。また、就労支援の重要性を痛感できた（薬剤師）
- ・興味深い内容で、話も分かりやすかったところ（看護師）
- ・がん経験者の生の声が聞いた（医師）
- ・実体験をふまえた話であったところ（看護師）
- ・体験が聞いたこと（看護師）
- ・就職ということに関して関わる機会がなかったためにとっても参考になりました（看護師）
- ・がんサバイバーの体験談を聞くことができ、医療者として何ができるかを改めて考える機会となりました。また、生活を送るうえで就労への支援の重要性と難しさも改めて感じました（看護師）
- ・がん・治療を体験された岸田さんの実体験（看護師）
- ・体験談を語っていただいたことがすごくわかりやすくて良かったです。AYA世代のがんノートユーチューブ見ました。多くの人に知ってほしいです（看護師）
- ・webセミナーで開催いただいたことで、参加ができたこと（事務職員）
- ・講演内容がわかりやすく、話も聞き取りやすかった（看護師）
- ・会社等の待遇の変化や周囲の理解、サポートがいかに大切かについて、生の話が聞けて、身近なものとしてとらえることができました（看護師）
- ・がん患者さん、AYA世代の方の等身大の言葉での講演がその世代の抱える悩みや問題をストレートに表現されて伝わるなと感じました。今どきので片付けられない問題をどんどん言葉で発信していただきたいと思いました。就労支援に関しても他職種の方との連携、情報共有、本人が何を求めているのか経験と共にその人に寄り添う支援であれば良い方向に向かうのではないかなと期待したくなりました（看護師）
- ・患者さんの立場の話を聴けてよかった。国立がん研究センター中央病院の現状を知り、参考になった（医療ソーシャルワーカー）
- ・病気体験の方の生の声を聞けて良かったです。新たな発見や知識を得ることができました（看護

師)

- ・ AYA世代の患者さんの声を直にきけたこと。You Tubeのがんノートもみてみました (薬剤師)
- ・ AYA世代の課題を考えるきっかけになった (看護師)
- ・ AYA世代での問題点などを学べたところ (看護師)

②気になったところ

- ・ 国と東京都はAYAがんの方の就労支援で企業への支払い (これもおかしなシステムですが) があるとのことですが、長崎はどうなのでしょう (医師)
- ・ 仕事について悩んでいるひとをどこに繋いだらいいのか? あんまり分からなかった。それは、患者さんたちが知っているのであればいいんですが、患者さんたちには周知できているのか? 気になります (薬剤師)
- ・ もう一度資料を読んで考えてみたいと思います (職業相談員)
- ・ 講演中にミュートにされていない方がいて、雑音が気になりました (薬剤師)
- ・ 正しい情報発信と標準治療の概念はとても理解できました。多くの患者を対象にサポートできるようになって欲しいです。半面、就職しない、標準治療をしない場合にはどうなるのか。不適切と表現するのか、それも個別性とするのか。病とどう向き合うのか、向きあう場合にはサポートをすることがイメージできるが、向き合うことをしていない場合は向き合わせなければならないのか、それともそれも個別性になるのか。様々ケースがあり、正解があるようでない。どんな形であれ、充実感をもって生活してほしいという思いを理想としてサポートしていけばよいのか。うまく考えがまとまりません (看護師)
- ・ がんに罹患すると治療で仕事を休むことになるだけでなく、治療により体力が低下し、思うように仕事ができなくなり、退職に追い込まれて金銭的に困窮する患者さんがいること。AYA世代のがん患者のは治療だけでなく、治療前に妊孕性の温存についても考えなくてはいけないこと (看護師)
- ・ 難しい病気とは言え、診断がつくまでに複数の医療機関を受診し時間がかかっている現状。医師の理解・協力を得るためには…人も変われば体制も変わるし、永遠のテーマだと思います (医療ソーシャルワーカー)
- ・ 長崎の場合は就職支援したり相談にのってくれる機関があるのかなと思いました (薬剤師)

③講演に関する要望

- ・ 当事者の方を入れると医療者の学びにもなると思います (医師)
- ・ あまりAYA世代の患者さんに接することは少ないとはいえ、こういうことに関しても知識を持っておきたいと前から思っていたので、今日の講演はありがたかったです (薬剤師)
- ・ 情報が少ないAYA世代のがん患者に関する内容は定期的開催してほしいです (看護師)
- ・ 携帯電話で参加させてもらったせいか、音声が消えたまま戻りませんでした。資料だけでも印刷して再読させていただきます (職業相談員)
- ・ 本日のような患者に接するにあたり共感を深めることができる講演を拝聴したい (薬剤師)
- ・ 面白かったです。講演内で紹介されたHPのAddress一覧が欲しいです (医師)

- ・直接お会いしての研修もいいですが、オンラインを活用すればもっと時間を有効に活用できると思うので積極的に開催してほしい（看護師）
- ・AYA世代について、遺伝性のがんについて（看護師）
- ・コロナが落ち着いても、web参加可能としていただきたい（事務職員）
- ・わかりやすく適切でした（看護師）
- ・当時者の講演が良いです。やはりストレートに気持ちが伝わります。いくら机上のことを講演しても当時者の言葉に勝るものはありません（看護師）
- ・またこのような機会があったらぜひ参加したいです（看護師）
- ・今までがんのことに對しては治療法にばかり目がいてしまっていますが、就職支援や経済的な支援、精神的につらいと思うのですがその時に支援して下さるような公的機関等もしあるのなら知りたいなとおもいましたし勉強しておきたいと思いました（薬剤師）

◆次回の講演で希望すること（内容、場所、日時など）

- ・当事者の話が聞ける会（医師）
- ・患者支援に役立つことがいいです。18:00からだ、仕事終わってないんですが、18:30からだ、何とかはじめの方から参加できるので、このくらいの時間がいいです（薬剤師）
- ・WEB研修・参加型研修のハイブリッド型で行ってほしいです（看護師）
- ・開始時間はちょうど良かったです。平日がありがたいです（職業相談員）
- ・同様方式・頻度でいいと思います（医師）
- ・WEB研修だったので、自宅でゆっくりとみることができてよかったです（看護師）
- ・webでも参加可能（事務職員）
- ・自宅から受講しました。落ち着いた環境で講義を受けることが出来ました。今後は集合とzoomと両方開催されるとうれしいです（看護師）
- ・ちょうどよい時間帯でした（看護師）
- ・まだまだコロナ禍、Web開催でしょうか、しかしいつでもどこでも気軽に閲覧できるメリットもあります。ネット環境次第ですがつながりにくい環境さえクリアできれば良いなと思います（看護師）
- ・WEB開催の方が、参加しやすいです（看護師）
- ・次もリモートの方が参加しやすいです（薬剤師）
- ・平日は勤務のことが多いためもう少し開催時間が遅い方が参加しやすい（看護師）

◆がん診療センターに対するご要望をご記入ください

- ・これからもこの研修会を続けてください。また、研修会決まったら、周知をお願いします（薬剤師）
- ・いつもお世話になっております（職業相談員）
- ・これからも頑張ってください（医師）
- ・いつもありがとうございます。気軽に相談できる風土に助けられます。今後ともご助言、ご指導いただけますようよろしくお願いいたします（看護師）

- ・トピック的な、タイムリーな話題、情報提供を随時発信していただけたら勉強になります（看護師）
- ・ありがとうございました。またこのような機会があったら参加したいです（看護師）